

アトラボ 2023 第 I 期

## 中ハシクシゲ展 おしめの家族

会期：2023年5月13日(土)～8月1日(火)

長野県立美術館本館2階の「アトラボ」は、視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な「ラボラトリー（実験室）」となることを目指しています。

2023年度の第I期展覧会では中ハシクシゲを紹介します。現代美術作家、彫刻家として活動する中ハシはアイマスクをつけて視覚を遮断し、触覚だけで制作するという手法で、新しい触覚体験の可能性を探求しています。本展では、中ハシが赤ちゃんや老犬に何度も触れて、その感触を手で捉えながらモデリング（<sup>そぞう</sup>塑像）した「触覚彫刻」の作品を展示します。視覚と触覚でどんな違いが生まれるのか、その差をお楽しみください。



中ハシクシゲ《おしめの家族（介護犬）》（撮影：金井真一）

### 展覧会概要

『アトラボ 2023 第 I 期 中ハシクシゲ展 おしめの家族』

会 期：2023年5月13日(土)～8月1日(火)

休館日：毎週水曜日

開館時間：9:00～17:00（展示室入場は16:30まで）

観覧料：無料

会 場：長野県立美術館 本館2F アトラボ

主 催：長野県、長野県立美術館

#### ふれる作品鑑賞方法のご案内（下記についてご理解ご協力をお願いいたします）

○荷物やアクセサリーの作品との接触を防ぐため、鑑賞する際は何も身に着けていない状態をお願いいたします。

- ・事前に館内1階のロッカーまたはアトラボ受付へ、荷物を預けてください。
- ・入場前は、アトラボ受付にて手指の消毒にご協力をお願いします。
- ・ふれて鑑賞する作品の性質上、過度な力を加えると壊れてしまいます。やさしく大切に触ってください。
- ・混雑状況により入場をお待ちいただく場合があります。

※その他、新型コロナウイルス感染症への基本的な予防対策について、ご理解とご協力をお願いいたします。

※諸般の事情により、展覧会会期変更や休止となる場合があります。

## 展示作品

「おしめの家族」シリーズは、長野県が実施した「新美術館 みんなのアートプロジェクト」にて制作された作品です。

(2019年依頼 2021年作品完成)

《おしめの家族 (車椅子犬)》2021年

《おしめの家族 (介護犬)》2021年

《おしめの家族 (おねんね)》2021年

《Cat in the dark》1982年 ※特別出品 (予定)



中ハシクシゲ《おしめの家族 (車椅子犬)》(撮影：金井真一)

## 作家紹介

### ■中ハシクシゲ NAKAHASHI Katsushige

現代美術作家、彫刻家。京都市立芸術大学名誉教授。

1980年代末から日本の風土に寄り添った彫刻作品を志向し、剪定された松や力士、天皇像、写真を使った「ZERO Project」などに取り組んだのち、粘土による即興的なモデリングを始める。

アイマスクを付けて視覚を遮断し、触覚だけで作品を制作するという実験的な手法により、触覚体験の可能性を探求している。



中ハシクシゲ (撮影：守屋友樹)

### 報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室

〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4(善光寺東隣)

TEL:026-232-0052/FAX:026-232-0050/E-MAIL:nam-pr@naganobunka.or.jp



長野県立美術館  
Nagano Prefectural Art Museum